

# 大切な人をなくした 子どもたちのプログラム 「ぶるーすかい」

日時 2025年3月1日（土）13:00集合

会場

常磐大学 桜の郷キャンパス 3F  
茨城県東茨城郡茨城町桜の郷280

参加費  
無料

大切な人をなくした子どもたちのプログラムってなあに？

パパやママ、おにいちゃん、おねえちゃん、いもうと、おとうと。  
わたしたちには大切な人がたくさんいます。  
中には、そんな大切な人をなくしてしまう子たちもいます。

「大切な人をなくした子どもたちのプログラム」は  
大切な人がなくなってしまった子どもたちのためのこころのプログラムです。

プログラムでは「ファシリテーター」とよばれる人たちがみんなといっしょにあそびます。  
好きなおもちゃであそんだり、ゲームをしたり、キャッチボールをしたり、  
おしゃべりをしたり、絵を書いたり。みんなの好きなことをしてすごします。  
そして、大切な人との思い出を、お話しすることもできます。

プログラムの  
内容

13:30～

自由あそび  
おもちゃがいろいろあるよ

15:00～

おやつ  
おしゃべりの時間

13:00

はじまりのわ  
自己紹介(じこしょうかい)



16:00

おわりのわ  
解散

主催：グリーンサポートいばらきぶるーすかい

共催：常磐大学 NPO法人子どもグリーンサポートステーション

後援：茨城県教育委員会 茨城県精神保健福祉センター 水戸市社会福祉協議会





- バスをご利用の場合  
水戸駅・赤塚駅より茨城交通、関東鉄道バス 乗車  
「水戸医療センター行」 → 「水戸医療センター」バス停下車
- バス乗り場  
水戸駅：北口4番・南口2番 所要時間：35～40分  
赤塚駅：南口4番 所要時間：20～25分



桜の郷キャンパス  
「水戸医療センター」正面玄関  
向かって右側の建物・3F



- お車でお越しの場合  
無料駐車場有。事前にお知らせください。  
ナビに「水戸医療センター」と入力。
- 無料駐車場  
「特別養護老人ホーム 桜の郷元気」の向かい側
- 国道50号方面からお越しの場合  
「水戸医療センター」正面入り口を通り過ぎ、  
左手・茶色の建物（桜の郷キャンパス）を  
通り過ぎて隣にある駐車場へ入る
- 北関東自動車道方面からお越しの場合  
右手の「茨城県赤十字血液センター」を通り  
過ぎ、歩道の先にある茶色のフェンスでかこ  
まれた、石の門のある駐車場へ入る

お申込み  
(QRコード)

保護者の方へ  
子どものプログラムの間、「保護者の会（わかちあいの会）」も同時開催しています。子どもの気持ちについて、子育てについて、自分自身の気持ちについてなどを保護者同士で語り合える場です。（専用スタッフが運営します）プログラムのスタッフは遺児の心理などを含む研修を終えたボランティアです。お子さんをプログラムに参加させるにあたって、不安なことや、今、現在抱えている、お子さんの心の問題、進路についてなど困り事がありましたら、遠慮なく下記までご連絡ください。

お問い合わせ  
グリーフサポートいばらき ぶるーすかい  
✉ gurisapoibaraki@gmail.com

HP : <https://sites.google.com/tokiwa-u.jp/griefsupport-ibaraki-bluesky/>  
f グリーフサポートいばらき 検索

### グリーフサポート

大切な人を亡くした時に抱える悲しみや哀惜など様々な気持ちを「グリーフ」と呼びます。アメリカにはグリーフを抱えた子どもを支えるためのプログラムが全米で500か所以上あります。日本には東日本大震災のあった年に4か所しかありませんでしたが、ここ数年、子どものグリーフサポートがやっと注目されるようになり、現在、国内で30か所程の場ができました。しかし、茨城をはじめ北関東には、大切な人を亡くした子どもをサポートするプログラムがこれまでありませんでした。そこで2019年より文部科学省の助成と茨城県教育委員会をはじめ県内の行政機関の協力のもと、「大切な人を亡くした子どもたちのプログラム」を茨城の水戸でスタートさせましたが、コロナ禍により一時活動が休止となりました。この度、水戸信用金庫からの助成金を受け、再スタートいたします。

亡くなった人のことをお話しできなかつたり、悲しい気持ちを抱えたままの子どもたちのグリーフをサポートすることは、子どもたちが自信をもって未来を築いていく力となるでしょう。グリーフサポートを必要としている茨城の子どもたちにこのプログラムが届くことを願っています。

主催者代表 池内 彰子  
(常磐大学精神看護学教授 看護学研究科長)

